

みなさまには、昨年度も、度重なる節電のお願い、万が一の備えとしての計画停電の準備などにより、大変なご不便とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。あわせて、このたびの電気料金の値上げにつきましても、心からお詫び申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、大飯発電所3、4号機以外の原子力プラントの再稼働時期が見通せず、火力燃料費等の大幅な増加等が続くなど、依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況の下、平成25年度は、大飯発電所3、4号機の安全・安定運転の継続と、高浜発電所3、4号機をはじめとする原子力プラントの早期再稼働に向けて、引き続き、原子力のさらなる安全性・信頼性の向上に取組むなど安全対策に万全を期すとともに、今後施行される新規制基準に的確に対応してまいります。

また、さらなる徹底した経営効率化を必ず実現しながら、電力の安全・安定供給に全力を尽くしてまいります。

現在、国において、電力システム改革の検討が進められておりますが、真にお客さまの利益につながる最適な電力システムの実現に向け、詳細検討に最大限協力してまいります。加えて、お客さまに当社をお選びいただけるよう、業務の変革や新たなサービスの開発などに積極的に取り組んでまいります。

当社グループの全員が「お客さま第一の精神」を徹底し、「お客さまと社会のお役に立つ」という当社グループの変わらぬ使命を果たしてまいります。

アクションプラン

グループの総力を結集して、「安全最優先の組織風土の醸成と安定供給の完遂」「徹底的な経営効率化と持続可能な経営に向けた取組みの推進」「お客さま・社会の新たなご期待に応えるための取組みの推進」の3つを柱としたアクションプランを展開してまいります。

取組みの推進にあたっては、企業としての社会的責任(CSR)の全うを経営の基軸に、CSR行動規範に基づき、一人ひとりがそれぞれの持ち場で自らの業務を確実に遂行してまいります。

1 安全最優先の組織風土の醸成と安定供給の完遂

◆安全は、当社グループ全ての事業活動の根幹、社会から信頼を賜る源であり、引き続き、安全最優先の事業活動を継続して、その実績を積み重ねていきます。そのため、従業員一人ひとりが安全最優先の行動を徹底し、グループワイドでのゆるぎない安全文化を構築してまいります。また、原子力発電の自主的・継続的な安全への取組みや安全文化の醸成活動等を全部門を挙げて、支援、推進してまいります。

◆グループ一丸となって、原子力プラントの早期再稼働を果たしていくために、新規制基準に的確に対応してまいります。加えて、原子力発電の信頼を回復するために、さらなる安全性・信頼性の向上に向けた取組みを自主的かつ継続的に推進していくとともに、これらの取組みについて、広く社会のみなさまに丁寧な説明を行ってまいります。

◆当社グループの最大の使命である安全・安定供給を完遂するために、自社電源の最大限の活用やピーク電力の抑制に向けた取組みなど、グループ一体となった需給安定化に向けた取組みを推進してまいります。また、当社グループの事業を支える「人」や「設備」などの事業基盤については、引き続き、維持・強化を図ってまいります。その上で、従業員一人ひとりが日々の業務を確実に遂行していただけるようグループ大のCSR活動の一層の充実を図るとともに、情報公開の徹底やお客さまサービスの品質をより一層向上させるための業務改革など高品質な事業活動を支える取組みを推進してまいります。

(1) 安全最優先の組織風土の醸成に向けた取組み

- グループワイドでのゆるぎない安全文化の構築に向けた取組み **【訓練の実施】**
- 原子力安全の推進に向けた全社的取組み
- 安全・防災体制の充実・強化

(2) 原子力プラントの再稼働に向けた取組み

- 原子力プラントの再稼働に向けた取組み
- 原子力発電のさらなる安全性・信頼性向上に向けた取組み
- 地域・社会からの原子力への信頼回復に向けた取組み

(3) 安定供給を支える取組み

- グループ一体となった需給安定化に向けた取組み
- 事業運営を支える人づくり
- 設備基盤の維持・強化
- 高品質な事業活動を支える取組み

【訓練の実施】

○電源確保訓練



○給水確保訓練



【免震事務棟のイメージ】



2

徹底的な経営効率化と持続可能な経営に向けた取組みの推進

(経営効率化計画)

◆当社は、従来から、安全・安定供給の確保を最優先に、より低廉な電気料金の実現と経営基盤の強化による企業価値の向上を目指して経営効率化を続けておりましたが、停止中の原子力プラントが再稼働できず、非常に厳しい収支状況となったことから、平成24年4月には「効率化推進部会」を設置して、収支改善につながるさらなる効率化に取り組んでいるところです。

こうした中、昨年11月の料金値上げ申請に際してお示しさせて頂いた、平成25～27年度の3年平均で1,553億円の経営効率化を着実に実施してまいるとともに、料金値上げ認可時の修正指示に基づく査定額474億円についても、経営全体で吸収するべく、グループ一丸となって、効率化のさらなる深掘りに向けて経営効率化方策を検討してまいります。

◆グループ事業、国際事業については、電気事業で培った技術や知見等を活用し、新たな事業展開に取り組むなど、引き続き、グループ全体の収益拡大に向けた取組みを推進してまいります。

(1) 設備形成、設備運用・保全の効率化に向けた取組み

- 資産効率の向上
- 修繕費などの抑制

(2) 資材調達・燃料調達の効率化に向けた取組み

- 資材調達の効率化に向けた取組み
- 燃料調達の効率化に向けた取組み

(3) 業務運営効率化に向けた取組み

- 管理間接業務の効率化
- ITの活用による効率化
- その他費用の効率化

(4) グループ全体での収益拡大に向けた取組み

- グループ事業の収益拡大に向けた取組み
- 国際事業の収益拡大に向けた取組み

3

お客さま・社会の新たなご期待に応えるための取組みの推進

◆電力システム改革については、真にお客さまの利益につながる最適な電力システムの実現を目指し、今後も詳細検討に最大限協力してまいります。

◆今後、小売全面自由化により競争が進展していく中においても、お客さまに当社をお選びいただけるよう、従来の枠組みにとらわれず、企業革新を推進し、時代を先取りした業務の変革や新たなサービスの開発などに積極的に取り組んでまいります。

(1) 電力システム改革への的確な対応

(2) お客さま選択肢の拡大に向けた取組み

- お客さまの省エネルギー実現に向けたエネルギーマネジメント活動の深化・発展
- スマートメーターを活用した電気のご使用状況の見える化の促進や新たな料金メニューの拡充検討
- エネルギーと暮らしのトータルソリューション提案

(3) 火力発電の高度利用に向けた取組み

- 火力発電所の開発・導入
- 燃料調達の安定性・柔軟性・経済性のさらなる向上

(4) 再生可能エネルギー等の普及・拡大に向けた取組み

- 再生可能エネルギーの開発
- スマートグリッドの構築による再生可能エネルギーの導入促進
- スマートコミュニティ・まちづくり案件の推進